

2015 年度第 1 回 N P O 法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日 時：2015 年 4 月 7 日（火） 午後 6 時 30 分から
- 2 場 所：立川市柴崎学習館 第 1 教室（地下）（立川市柴崎町 2-15-8）
- 3 議決権のある理事：8 名、出席理事：7 名
出席者：座間直壯、清田義昭、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、平山恵三、堀渡
欠席者：矢崎省三
事務局：蓑田明子

4 報告及び協議事項

(1) 第 1 号議案 会員の動向について【報告】

・2015 年 3 月 31 日現在

正会員 101 名 3 団体 賛助会員 41 名 1 団体 計 146 名・団体

（前回理事会での報告は、2015 年 2 月 1 日現在

正会員 101 名 3 団体 賛助会員 41 名 1 団体 計 146 名・団体）

(2) 第 2 号議案 オープンデータ・ビジネス・コンペの結果について【報告】

・2 月 9 日、（株）カーリルからの提案で、経済産業省主催の「オープンデータ・ビジネス・コンペティション」に応募した。行政機関や自治体が利用可能な形で公開している「オープンデータ」を使って地域振興やビジネス創出に活用しようとする事業プランを募集、優秀作を表彰するコンペである。33 の応募があり、多摩デポは最終 10 企画に残った。3 月 3 日に東京国際フォーラムで行われた最終プレゼンテーションに（株）カーリルの吉本代表と臨んだが、優秀作には選ばれなかった。図書館関連の事業がこのようなコンペに応募し、審査を受けることは珍しく、図書館の活動を広く理解してもらう機会にもなった。マスコミ取材も受け、記事（日経新聞朝刊 2015・3・12）になった。

(3) 第 3 号議案 （株）カーリルとの共同研究について【報告・協議】

- ・現在、国立国会図書館と国立情報学研究所のデータベースから ISBN 付き資料の全件を抽出し、このデータと多摩地域でホームページに公開されている所蔵情報を掛け合わせて、多摩で最後の 2 冊以下に該当する資料のデータを試験的に抽出している。3 月 3 日の共同研究定例会で確認した進捗状況では、2014 年度内にも多摩地域全図書館が所蔵する ISBN 付き資料のすべての年度の重複状況のデータ抽出が出来そうな見通しとなっている。
- ・各図書館から所蔵資料のデータを提供してもらうことは難しいが、ISBN 付き資料については、国立国会図書館や国立情報学研究所のオープンデータを使い、多摩地域で最後の 2 冊以下に該当する資料を抽出することが可能なことが検証できた。そのプロセスを検証、確立することで、今後、信頼性の高いデータベースを作成する足がかりになったと考えている。
- ・共同研究の定例会には毎回、館長会 P J の座長と担当図書館長がゲスト参加されている。
- ・新年度最初の館長会 P J（4 月 23 日予定）には、共同研究の内容と成果を説明してほしいと、多摩デポと（株）カーリルへの招請が打診されている。
- ・ISBN の付いていない資料をどうするかが課題となる。
→ 以上の報告を受け、この間の動きを理事会として了承。

(4) 第4号議案 2015年度通常総会の議案および記念行事について【報告・協議】

- ・2月理事会の審議も反映し、事務局で再提出する通常総会の議案書案を審議した。
- ・年度をまたいで事業が継続しており、また(株)カーリルとの共同作業である、2014年度事業報告の「1(1)共同保存図書館の準備作業」(第一号議案)、そして、2015年度事業計画の「1(1)共同保存図書館の準備作業」(第三号議案)の書き方について、連続性と段階変化を表現したい。また、2014年4月時点での現状を踏まえた表現とした。
- ・記念行事は、従来の個人の講演会でなく、(株)カーリルとの共同研究の報告・発表の場とする、という方針は2月理事会で確認されている。
 - チラシについては、メインタイトル、リード文について意見が出され、事務局で整理し確定する。
 - 「2014年度活動計算書(案)」「計算書類の注記(案)」「2014年度貸借対照表(案)」「2014年度財産目録(案)」「2015年度活動予算書(案)」について、いずれも承認。

(5) 第5号議案 次期の役員および事務局員の候補について【報告・協議】

- ・理事、および監事の留任を確認した。
 - ・新年度の顧問については、理事長選任後の理事会で諮る。
 - ・今年度は理事全員が再任なので、総会当日の互選会を開催、理事長、副理事長を選ぶ。
 - ・事務局員については、雨谷逸枝、鬼倉正敏、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、中川恭一、堀渡、吉田光美、蓑田明子の9名とする。あたらしく事務局員を増やす努力をする。

(6) 第6号議案 多摩デポ通信第34号の発行について【報告・協議】

- ・今号はあまり厚くせず、6ページとする。
- ・総会開催を告知・広報する号となる。総会案内、議案書、出欠・委任状、総会後の行事のチラシ、新年度会費振込用紙などを同封して送る。
- ・これまでのメール便の3月末での廃止に伴い、発送はクロネコDM便と郵便の併用となる。会費振込納付者への領収書の扱いについては前回確認のとおり、振込票の受領証もしくは利用明細書をもって領収書にかえることとする。

(7) 情報交換

- ・座間、堀で訪問した都立中央の企画経営課長との話し合い(3月6日)の報告
 - 新都立多摩図書館について情報交換、「あり検」の見直し等についても話題にした。特に進展はなかったが、話し合いの糸口ができた。
- ・「情報の科学と技術」誌からの執筆依頼あり。 → 引き受ける旨返事をする。
- ・金高謙二監督の新作映画について、協力依頼が届いている。
 - これまでのつながりもあり、多摩デポの理念と重なるところもあるので、協力する。1万円以上のカンパで映画エンドロールに名前が出るので、総会時にカンパ協力を呼びかける。
- ・都立中央図書館内で作業していた、陸前高田市立図書館津波被災資料の修復が終わり、ミニ展示会開催の後、返還された。(次の修復作業も控えている)
- ・「全国図書館大会記録」が発行された。「分科会抜刷り」の扱いについては、次回以降事務局判断で同封する。
- ・理事会MLと事務局MLについて、従来理事長・副理事長には送っていたが、今後は理事全員に

も送る。

- ・ 2015年度の事業企画案として「紙の本の力」、「本を読むこと」「紙の本を保存すること」等のテーマで100人規模の講演会を開く、との事務局案に対し、理事会としても賛成意見多数。
- ・ 2015年度全国図書館大会の県立図書館問題の企画の見通し
- ・ 多摩地域の図書館の新年度人事や館長会PJの進行について
調布市立図書館長 小池信彦氏留任、西東京市立中央図書館副館長 中川恭一氏
東大和市立清原図書館館長 浴靖子氏
- ・ ブックレット第10号の反響を集めては、という意見が出ている。今後の課題である。

★ 次回理事会 6月 9日(火) 午後6時30分～ 会場立川市柴崎学習館予定

★ カーリルとの第7回打ち合わせ会 月 日() 午後 時から

★ 館長会PJでの研究報告 4月23日(木) 午後〇時から 会場 未定

★ 次回の事務局会議 4月10日(金) 午後6時30分から 調布市たづくり11階みんなの広場

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、齊藤誠一理事と堀渡理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2015年4月7日

議 長 座間 直壯

議事録署名人 齊藤 誠一

議事録署名人 堀 渡